

昭和51年度ポリオ流行予測調査成績について

原 田 誠三郎* 佐 藤 宏 康* 森 田 盛 大*

I はじめに

秋田県では、昭和42年度から本調査を厚生省委託事業として実施してきたが、本年度も大館市花岡地区と本荘市地区の2地区を選定し、感染源調査（ウイルス分離試験）を実施したのでその結果を報告する。

II 実験材料及び実験方法

A. 実験材料

感染源調査のための被検糞便材料は、表1.に示すよう

に、大館市花岡町地区では昭和51年7月5日に33名、また、本荘地区では昭和51年7月12日に35名の計68名から採取し、検査時迄－70℃に保存した。

B. 実験方法

昭和51年度伝染病流行予測調査実施要領¹⁾に準じた。

III 調査成績

大館市花岡町地区と本荘市地区から表1.に示す5株のウイルスを分離した。

表1. 昭和51年度ポリオ流行予測調査成績 (感染源ウイルス分離成績)

分離材料採取地区月日		大 館 市 (花岡町) S.51. 7. 5			本 荘 市 S.51. 7.12			
年	令	被検数	分離陽性数	ポリオウイルス	ポリオウイルス以外のウイルス	被検数	分離陽性数	ポリオウイルス以外のウイルス
0		1	1	ポリオ3型 ₁		2	1	ポリオ2型 ₁
1		5	2	ポリオ2型 ₁	アデノウイルス ₁	5	1	アデノウイルス
2		1				2		
3		5				5		
4		2				1		
5		3				3		
6		2				3		
7		3				2		
8		4				2		
9		1				3		
10～14		6				7		
15～		0				0		
計		33	3	2	1	35	2	1

大館市花岡町地区においては、ポリオウイルス3型が生後11ヶ月の乳児から1株が分離されたとともに、ポリオウイルス2型とアデノウイルスがそれぞれ1株ずつ1才の乳児から分離された。また、本荘市地区においても生

後10ヶ月と1才の乳児からポリオウイルス2型とアデノウイルスが1株ずつ分離された。なお、両地区とも2才以上においては、ウイルスの分離はなかった。

*秋田県衛生科学研究

IV ま と め

昭和51年度ポリオ流行予測事業として、大館市花岡地区と本荘地区の住民合計68名について感染源調査を実施、次の結果を得た。

1. 大館市花岡地区では、ポリオウイルス2型，3型が1株ずつとアデノウイルス1株分離された。また，本荘地区においても，ポリオウイルス1株とアデノウイルス1株が分離された。なお，両地区から分離されたポリオウイルスの各型は，ポリオ生ワクチン由来と思われる。
2. 両地区とも2才以上においては，糞便からのウイル

ス分離はなかった。

稿を終えるにあたり，本調査に御協力下さいました県公衆衛生課，大館保健所，本荘保健所および関係機関に深く感謝します。

文 献

- 1) 厚生省公衆衛生局保健情報課：昭和51年度伝染病流行予測調査実施要領